第２回
日本水大賞

安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀へ。
今年も、水循環系の健全化をめざす活動を募集します。



地球上を潤し、人類をはじめとする豊かな生命を育んできた、水。
しかし近年、水利用の形態の変化による悪影響、水質の悪化など、
水循環系に関するさまざまな弊害が露呈してきました。
さらに地球規模の気候変動などを背景にして、
わが国でも集中豪雨の多発化や小雨傾向が顕著になってきています。
21世紀も、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる日本であるために、
「日本水大賞」は水循環系の健全化に貢献する研究や活動を支援します。

募集期間
平成11年
7月7日(水)～11月30日(火)

対象となる活動内容

以下のような分野における研究、技術開発および諸活動を対象とします。

①水環境：例えば、以下の視点などから実施される研究、技術開発および諸活動。
- ●川や湖沼、海などの水をきれいにする。
- ●水辺の生き物やその すみかを大切にする。
- ●水辺や水のある地域づくり。

②水資源：例えば、以下の視点などから実施される研究、技術開発および諸活動。
- ●水を大切にする。
- ●山や川などの水源地を大切にする。
- ●水飢饉のときに被害を少なくする。

③水文化：例えば、以下の視点などから実施される諸活動。
- ●水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める。
- ●水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりする。（芸術、文学を含む）
- ●地域における水文化を発掘したり普及する。

④水防災：例えば、以下の視点などから実施される研究、技術開発および諸活動。
- ●水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する。（ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る）
- ●雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す。
- ●河川の氾濫や崖崩れのときに助ける。

対象となる活動主体

以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。（個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍などを問いません）

①学校：小中学校、高等学校、大学などで行う活動など。
②行政：地方自治体、水防団、消防団などで行う活動など。
③企業：企業の研究や技術開発、製品開発活動、企業のメセナ活動など。
④団体：民間で組織する団体、または公益法人が行う活動など。
⑤個人：学校・行政・企業・団体を離れた個人での活動など。

なお、第1回「日本水大賞」に応募された活動も、ふるってご応募ください。（大賞、大臣賞、市民活動賞を受賞した活動を除く）

日本水大賞の内容／対象となる活動の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。①大賞【グランプリ】（副賞100万円）水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会貢献度が高く、総合的見地から観て特に優れたものに対して授与します。②大臣賞（副賞50万円）環境行政、建設行政等行政目的に沿ったもので、特に優れたものに対して授与します。③市民活動賞（読売賞30万円）市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。④奨励賞（副賞10万円）①から③の上記各賞の他に特に優れたものに対して奨励賞を授与します。

応募方法／申請用紙に所要事項をご記入の上、事務局までご持参もしくはご郵送ください。またE-mail（taisyo@japanriver.or.jp）の添付ファイルでもご応募いただけます※1。申請用紙は事務局にご用意しておりますが、郵送によるご請求も承っています※2。ホームページからのダウンロードによる入手も可能です。（http://www.japanriver.or.jp/taisyo/）
なお、必要な場合は、追加の資料の添付をお願いすることがあります。
※1:E-mailで送付する場合は、申請用紙の様式に合わせて作成したものをご利用いただけます。（マイクロソフト（株）のExcelかWord、または（株）ジャストシステムの一太郎にて作成してください）※2:郵送の際には、住所・氏名を記入し160円切手を貼ったA4判定型の返信用封筒を同封してください。

主催／日本水大賞顕彰制度委員会（委員長:高橋裕　副委員長:中川志郎　委員:老川祥一、片倉もとこ、川那部浩哉、北野大、小坂忠、小谷実可子、小松左京、庄子幹雄、鈴木基之、松尾友矩、村岡浩爾、および建設省事務次官、環境庁事務次官）　後援／環境庁、国土庁、外務省、文部省、厚生省、農林水産省、通商産業省、運輸省、建設省、（財）河川環境管理財団、環境科学会、（社）経済団体連合会、（社）砂防学会、水文・水資源学会、（財）世界自然保護基金日本委員会（WWFジャパン）、全国水防管理団体連合会、（社）全国治水砂防協会、全国水環境交流会、（社）土木学会、（社）日本河川協会、（社）日本下水道協会、日本下水道事業団、（社）日本工業用水協会、（財）日本自然保護協会、（社）日本水道協会、日本生活協同組合連合会、（財）日本ダム協会、日本地下水学会、（社）日本の水をきれいにする会、（社）日本水環境学会、日本陸水学会、日本林学会、（財）日本野鳥の会、（社）農業土木学会、（社）農村環境整備センター、電気事業連合会、水資源開発公団、読売新聞社　協賛／日清酒造
※本事業は一部河川整備基金の助成事業で実施しております

【お問い合わせ・お申し込み先】事務局（社）日本河川協会 〒102-0082東京都千代田区隼町2-13US半蔵門ビル101号 TEL.03-3238-8771（土曜・日曜・祝日を除く9:15～17:30） FAX.03-3288-2426 E-mail taisyo@japanriver.or.jp